



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年10月29日 第892号「週刊五十嵐レポート」

知らぬが仏

新聞・雑誌等で社長に対して「今年の重点課題は何か」というアンケートを見かけることがある。1位には商品開発の強化や営業力の強化が挙げられる。2位に社員教育が続くが、社長自身の成長という課題は、どこにもない。多くの中小企業の社長は、業績のほとんどが従業員で決まると考えているフシがある。

本来は、弱者の戦略(不利な会社のやり方)で経営すべき会社が間違っ
て強者の戦略(有利な会社のやり方)で経営をすると根本的に間違っ
た仕事を全員で実行する。すると従業員1人当たりの粗利益は1~2百万円減少する。
従業員10人だと1年間で10~20百万円のロスになる。戦略ミスによるロスは音
がしない。そのためこれに気がつかない社長が多い。これを「知らぬが仏(知
れば腹も立つが、知らなければ仏のように平穏な境地でいられる。転じて、
当人だけが知らずに平気でいるさまを哀れみ、嘲っていう語)」という。

業績の何割が社長1人で決まるか。社長の実力テストはなく、社内には社長
1人しかいないため実力のレベルは不明。社長が担当する役目がはっきりし
ないため、やはり社長の実力は解らない。

実は、社長の経営目標の定め方の善し悪しで業績は決まる。会社は粗利
益で生きている。他社より有利な条件で粗利益が補給される源泉をいくつか
持たないと根本的に利益性を良くすることはできない。強い競争相手との力
関係を考え、自社の経営力を考えた上で、将来強くなれるものや、1位にな
れる見込みのあるものを見つけ出し、これを重点目標に定める。これらは従
業員100人までの会社では社長が行う。ランチェスター経営では、業績の
98%が社長1人の戦略実力で決まる。(えっ、そんなに高いの?)

昨年11月、戦略社長塾小岩校と銀座校総勢20名で会社見学(創業46年。
創業以来増収増益を続けている。マザーズ上場)に行った。業界日本一の
会社で磐石ではあるが、あえて会社の課題は何かと訊いてみた。創業社長
曰く、「社長自身の成長である」。社長の成長なくして、従業員の成長はなく、
会社の成長もない。社長である限り、勉強し続ける。終わりはない。

ちょっと
気になる出来事

10月27日(土)NHK午後8:15~8:45「ニッポンのワケメ」というパライ
ティ番組を観た。

納豆に砂糖をかける地域はどこか?秋田の南部地域で納豆に砂糖をかけ
る地域があった。砂糖をかけると美味しいという。

私も札幌に住んでいたときに、社内の女性が納豆に砂糖をかけることを
知って驚いたことがある。テレビでは、北海道、青森、秋田県、山形県と
豪雪地帯には納豆に砂糖をかける風習があるらしい。

ちなみに、初めて納豆に砂糖をかけて食べてみた。「まずくない」「食
べられる」。スイーツ感覚。たまには良いかもしれない。

寿司屋で何を食べるか。関東人は「マグロ」。関西人は「タイ」。その
ワケメはどこか。山梨県、静岡県、長野県は「マグロ」。岐阜県から西は
「タイ」。確かに、日曜の社長塾の後に寿司屋に行くが、マグロ、トロは
あるが、タイはない。

食べ物の好みは、地域性があり、それには歴史が関わっている。



一口メモ
知識

「得る道」ではなく「捨てる道」

仏教は、「得る道」ではなく、「捨てる道」を教えています。

捨てる生き方を歩もうとすると、
身も心も軽くなって、楽な気持ちがずっと続きます。

「得る道」は、依存を増幅する道です。不自由な道です。

「捨てる道」は、自由を獲得する道です。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

(株)五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

